

No.005 (不定期刊)

"Great Wall" Street Journal

# 長城街日報

～中国株の現場から～



東洋証券株式会社  
上海駐在員事務所 所長  
奥山 要一郎  
2007年入社。本社シニアストラテジ  
スト等を経て、2015年より現職

## 東京盆踊り 2020

1年ほど前、「Tokyo Bon 東京盆踊り 2020」という不思議な歌がネット上でプチ流行した。中華系マレーシア人が、いわゆる「ジャパングリッシュ」（和製英語）を織り交ぜて作ったリズムカルな曲。歌詞には「Ohayo」「Arigatou」などの簡単な日本語や、日本の名所、有名ブランドなどが登場する。あまり深い意味はないのだが、訪日外国人の苦勞やユニークな体験がコミカルなミュージックビデオと共に伝えられ、なかなか面白い。その中には、「日立」「トヨタ」「川崎」「キヤノン」「ソニー」などと並び、日本を代表するブランドとしてユニクロが出ている。

★ ★ ★ ★ ★

ユニクロ（ファーストリテイリング）の中国事業が絶好調だ。今年2月末時点で673店舗を展開。香港と台湾を合わせたグレーターチャイナの売上高は、2019年8月通期で5000億円に上る見込みという。

先週末、上海の繁華街にあるユニクロの大型店を訪れた。店内は若者や家族連れで大賑わい。店頭には「機動戦士ガンダム」とのコラボTシャツが大量に陳列され、「日中同時発売」と宣伝された“着る”UVカット商品も目立つ。日本の店舗とそっくりだ。試着室には長蛇の列ができており、その勢いを改めて感じさせられた。

ユニクロが一番最初に中国に進出したのは01年。当初はなかなか市場開拓が進まなかった。アパレル素人の私でも、派手なブランドロゴを見せびらかすように身にまとう「成金型消費」の中国人に、無地のシンプルなデザインは合わないだろうと思ったものだ。また、かつては「デフレの申し子」



小さくて見にくいですが、左奥がユニクロの店舗。右側はロゴがそっくりな別のお店です……

とさえ言われ、低価格が売りだったユニクロだが、中国市場では他ブランドに比べて若干高い。「同じようなモノなら安い方がいい」という現地の消費者心理にはフィットしなかった。10年前後には“中国版ユニクロ”の異名を持つ「VANCL（凡客誠品）」という地場系ブランドが大流行。低価格と高品質で、本家のお株を奪っていた。

ところが、中国経済の成長と共にユニクロの存在感が高まる。あえて価格を下げなかったことでブランドビルディングに成功。製品のクオリティを端的なキャッチコピーで訴求したことが、贅沢な見せびらかし消費には興味がなく、自分らしさやライフスタイルの質を重視する若者世代にハマった。冬場は同社製のフリースやダウンジャケットが人気で、夏には洗練されたデザインのTシャツ姿が目立つ。今やユニクロは中国人の生活シーンで当たり前の存在となり、むしろブランド感も高まっている。

同じことは良品計画の「無印良品」にも当てはまるだろう。シンプルなデザインと高品質の製品が中国人にウケている。自然を重視するなどのブランドストーリーが若者の心に刺さった。中国の人気ショッピングモールの多くにはユニクロと無印良品が出店しているが、この2社が入居しているかどうかで自身の進出を決めるブランドもあるという。集客力の

バロメーターになるのだ。日本ブランドが中国でここまで根付いてきたかと思うと、感慨深いものがある。

★ ★

なお、冒頭の曲は、リメイク版の「東京五輪音頭-2020-」とは全く関係ありませんので、一応ご注意ください。「Makudonarudo」という別名もついています。

文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

# ◆ 注 意 事 項 ◆

東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号  
 日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入

## 外国証券等について

・外国証券は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

## 手数料等およびリスクについて

### ① 国内株式の手数料等およびリスクについて

・国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2420%（税込み）、最低3,240円（税込み）（売却約定代金が3,240円未満の場合、約定代金相当額）の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

### ② 外国株式等の手数料およびリスクについて

・外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8640%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い仕切価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い仕切価格との差がそれぞれ原則として2.75%（手数料相当額）となるように設定したものです。当該仕切価格には手数料相当額が含まれています。

### ③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

## 利益相反情報について

この資料を掲載後、掲載された銘柄を対象としたEB等を東洋証券（株）が販売する可能性があります。

東洋証券（株）および同関連会社、またその役員は、この資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

## ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

この資料は、東洋証券（株）が各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点の見通しであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券（株）は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

なお、東洋証券（株）および同関連会社の役員またはその家族がこの資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

この資料の著作権は東洋証券（株）に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

東洋証券株式会社

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1  
 TEL 03 (5117) 1040

<http://www.toyo-sec.co.jp/>

2019年4月15日  
 審査部審査済